

【1 競技及び審判上の注意】

- (1) 今大会は現行の〔公財〕日本バドミントン協会競技規則・同運営規定及び同審判規定に準じて行なわれる。
- (2) 本部の指示があるまでコート内での練習は認めない。
- (3) 競技開始の指示があつてから3分間以内にコートへ入らない場合は失格とする場合がある。
- (4) 主審は特にサーバー及びレシーバーにおける「フォルト」について判定しコールする。ただし、競技規則に係る訴えに限り、主審が判断できないものは、競技役員長（レフェリー）に確認する。サービスジャッジについては主審と競技役員長（レフェリー）が協議して、必要があると認めた場合に限り任命する。
- (5) 試合中に審判上のトラブルが生じたときは、速やかに競技役員長（レフェリー）に報告し、その指示に基づいて行動する。
- (6) ラインズマンは、担当ラインについてシャトルが「イン」か「アウト」を判定し、手で示すこと。
- (7) ゲーム途中（11ポイント）に60秒、各ゲーム間に120秒を超えないインターバルを認める。なお、インターバル時に指定区域内でアドバイスを受けることはかまわないが、コートには入れるのは同時に2名までとする。
- (8) 試合中のけがや病気の手当や処置について、コートに入ることを許されるのは、必要と認められる医療補助員と競技委員長（レフェリー）及び競技審判正副部長だけである。
- (9) 今大会はゲーム中の給水を条件付きで認めます。
 - ① 容器は倒れてもこぼれないスクイズボトル、ペットボトル等を使用する。
 - ② クーラーボックスは、フロア内への持ち込みを禁止する。
 - ③ 氷嚢の使用は、インターバル中のみとし、使用後は保冷バッグに入れる。
- (10) 背中に県名、校名を明記、または明記されたゼッケンを着用すること。
- (11) コーチ席に座る場合は、(1)に則した服装をすること。
- (12) 「換気」の放送があつた場合、その時点でのラリーが終了するまでを有効とする。
- (13) その他、開始式（放送）での諸注意に従うこと。

【2 個人戦における簡易ゲームについて】

ベスト32決定までを簡易ゲームとし、ベスト16決めからは正規ルールとする。但し、進行状況により変更する場合がある。

- ・簡易ゲームのポイント 15点3ゲーム（延長ゲームなし、2ゲーム先取）
- ・ファイナルゲームの場合、どちらかの選手が8点を先取した時に、チェンジエンズを行う。
- ・ゲーム中のインターバルは行わない。但し、ゲーム間に60秒を超えないインターバルを認める。

【3 学校対抗戦の注意】

- (1) オーダー用紙は本部より指示があつたら、2部（本部、対戦相手校）を速やかに提出すること。
- (2) エントリーメンバー変更は、大会当日の監督会議終了までに所定の様式に従って申請する。
- (3) ベンチに入れる対象者は、メンバー表に提出されている監督・コーチ・マネージャー・選手のみとする。 ※5-（6）
- (4) 試合順序は、第1複（D1）、第2複（D2）、第1単（S1）、第2単（S2）、第3単（S3）の順で実施する。
なお、第1単と複を兼ねることはできない。
- (5) 試合はすべて3マッチ先取方式で行う。

【4 会場使用上の注意】

- (1) シューズは内外の区別をしっかりとすること。
- (2) 所定の場所以外での飲食は禁止とする。ゴミは必ず各学校で持ち帰ること。
- (3) 貴重品は各自責任をもって管理し、自己防衛に努めること。
- (4) 各会場の使用ルールを遵守すると共に、諸連絡及び諸注意の内容を、各校で周知徹底すること。

【5 新型コロナウイルス感染拡大防止対策】

- (1) 試合会場へ入場できるのは、役員、監督、コーチ、引率責任者、選手、マネージャー、医療スタッフのみとする。
- (2) 感染防止のため消毒場所等を設ける。また、施設内や備品の消毒を定期的に行う。
- (3) 審判はマスク着用のこと。また主審のコールは必要最小限とし、線審及びサービスジャッジは声を出さず、判定を示すのみとすること。
- (4) 大会期間中は、マスクの着用（試合中は除く）や手洗い等、各自が感染防止に努めること。
- (5) 会場内外での3密を避け、ソーシャルディスタンスを意識した行動をとること。
- (6) 学校対抗戦のベンチは設置いたしません。（コーチングシートのみ）
- (7) 水分補給用のボトルは、各自が用意したキャリーケースまたはバッグに入れ、ボトル等をフロアに直接置かず使用する。
- (8) 『令和3年度群馬県高体連バドミントン専門部大会開催に係る配慮及び準備に係わる留意事項について』を確認し大会に参加すること。